

## 1 「次なる目標」達成のために、新たなチャレンジが始まる！

新しいモノを創るだけでは、社会の発展にもはや貢献できない。

既存のモノを守り、既存のモノに再び価値を。

未来に向けて、クリエイイトするのではなく「Re」クリエイイトしていく。

社員ひとり1人が「Reクリエイイト！」を合言葉に、高品質にこだわる浄美社として「最高の環境」を提供することが私たちの使命です。

「次なる目標」とは  
「ちょっと違う！」浄美社を創る

- 新たなチャレンジ
- ・女性にやさしい企業（ピンクリボン活動に参画）
  - ・モチベーションの維持向上（大学との共同研究）
  - ・工場・設備メンテナンスの充実（循環型再生サービス）
  - ・壁面緑化（CSR：環境への社会貢献）
  - ・清掃ボランティア（CSR：地域貢献活動）
  - ・海外研修（業界を超えたネットワーク作り）
  - ・MEDI-MOS 始動（病棟環境整備の新メニュー）

を積極的に推進し、社会に貢献する企業でありたいと願います。  
常に高い目標を掲げ、それに向かって皆でチャレンジしていきましょう。



スタッフひとり一人が「高品質にこだわる」ために、つねに下記のことを心がけてください。

1. 業務効率を高め品質向上のために、改善意識を持つ。
2. お客さまの満足度向上のために、何を求められているかを知りそれに答える。お客さまの喜びは自己の意識も高め、その気持ちをサービスにこめればさらに喜ばれる。これの繰り返しによりお客様との信頼を築こう。

## 3 浄美社設備管理スタッフが エコライフコンテストで優秀賞を受賞！



保木本健二さん

H19年2月17日（土）京都市主催「第2回チャレンジ・エコライフ・コンテスト」の表彰式が、国立京都国際会館のメインホールにおいて行われました。東山区役所に勤務する保木本さんは、温暖化防止に対する省エネの取り組みが認められ、優秀賞の栄誉に浴しました。

【チャレンジ・エコライフ・コンテストとは】

京都議定書の誕生の地としての使命を果たすべく市民のみならずと一緒に環境負荷の低減に取り組んでいきたいとの思いから発足。「まず、やってみよう！」「これならできる？」をコンセプトに、家庭や職場における地球温暖化防止に役立つユニークな取り組みを、市民の皆様提案かつ実践していただき、発想の豊かさ、波及効果の高さ、京都らしさなど様々な面から評価し、表彰するコンテストです。

●受賞テーマ

どこまでやるのビル管理

<講評>

施設利用者に配慮しながら効果的な空調管理を実施することにより、ガス及び電気の使用量を大幅に削減し、併せてたびたび故障していた太陽光発電装置を整備し、フル稼働させることで温暖化防止への効果をあげました。またISO認証取得に伴う環境保全に係る取り組み以外にも自ら工夫し、率先して取り組んだ点についても高く評価され今回の受賞となりました。



浄美社から表彰状と御祝金を贈りました。

みなさんの声を聞かせてください。

「うちに来て～」と連絡くだされば伺います。  
広報グループ 斉藤・横田 Tel. 075-863-0588

各職場での画期的な工夫や提案、ちょっといい話など埋もれさせないでみんなで共有しましょう。



## 2 病院環境整備の新メニュー登場

“病棟管理の新しい型”

**MEDI-MOS**  
「メディモス」

医療現場と患者環境の良き仲介者として  
最善の環境へと調和させるシステム

患者さまに関わるすべてのスタッフ（医師・看護師・その他の医療従事者・清掃員・設備員）が『患者さまのために』同じビジョンで連携し、高品質な病院環境を効果的に提供します。

【MEDI-MOSの導入効果】

- 病棟の業務を集約・再配分して業務効率化を実現。
- 「看護師は看護に専念」できる環境のご提供。
- 浄美社スタッフは病院に応じた教育を行い、自ら改善の意識を持って業務にあたる。病院との共通理解を図り、患者さまに安全・安心なサービスを提供。
- 医療施設内感染対策の徹底。

【MEDI-MOSが高品質であるわけ】

- 産学共同研究による科学的検証からガイドラインを作成。
- 海外研修による情報収集と知見から独自の対策を設定。

追求したのは、  
患者さまへの『最高の環境』です。

